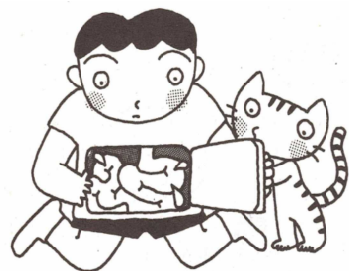
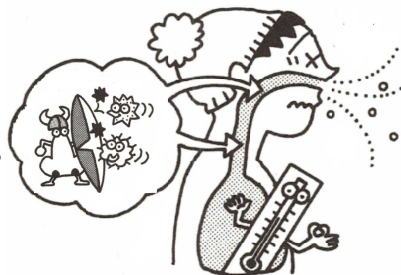


運動器検診ってなあに？

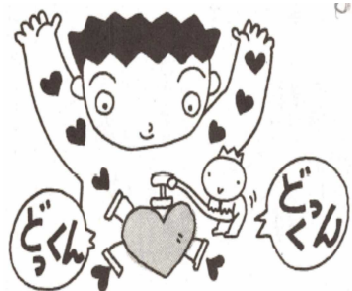
4月になると、健康診断があります。内科検診のとき、運動器検診もしてもらっていますが、運動器って何でしょうか？

たとえば、鼻やノド、肺など、呼吸するときに働いているところをまとめて「呼吸器」といいます。



胃や腸、肝臓など、食べ物を細かくして（消化して）、栄養を取り入れるために働いているところを「消化器」といいます。

心臓や血管など、体じゅうに血液を送る（循環させる）ために働いているところを「循環器」と呼びます。

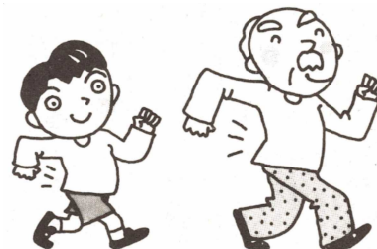


つまり、体のあちこちがいくつかまとまって、一つの働きをしているものを「〇〇器」と呼ぶのです。「運動器」は、骨・関節・筋肉・神経など、体を支えたり、動かしたりするために働いているところをまとめて呼ぶときに使います。



立つ、歩くなどの普段の生活の動きも、走る、跳ぶ、投げるなどのスポーツの動きも、全部「運動器」の働きです。自分の体を自由に動かすことができるのは、「運動器」のおかげなのです。

運動器検診は、体を動かすために働いている骨・関節・筋肉・神経などに異常がないかどうかを調べるためのものです。



年をとってからも自由に体を動かすことができるように、今から運動器を大切にしてください。